

自然保護活動を応援する
タカラ・ハーモニストファンド



公益信託 タカラ・ハーモニストファンド

日本は多くの生き物が息づく自然に恵まれた国ですが、その豊かであった自然が急速に失われています。当社ではこのような状況に危機感を覚えるとともに、かけがえのない自然を保護し次世代に伝えていくことは我々の責務であると考え、1985年の創立60周年を機に公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」を設立しました。以来毎年、日本の森林や水辺の自然環境を守る活動や、そこに生息する生物を保護するための研究に対して助成を行っています。

さまざまな生態系が助成先として選ばれています

四方を海に囲まれ南北に長く連なる日本列島は、複雑な地形や四季の変化が明瞭な気候、豊富な雨などにより多様な生態系を有し、そこには様々な生き物が息づいています。

タカラ・ハーモニストファンドでは、森林や里地里山、湖沼、河川、海洋などさまざまな生態系における自然保護活動や研究が助成先として選ばれています。



宝酒造の環境活動

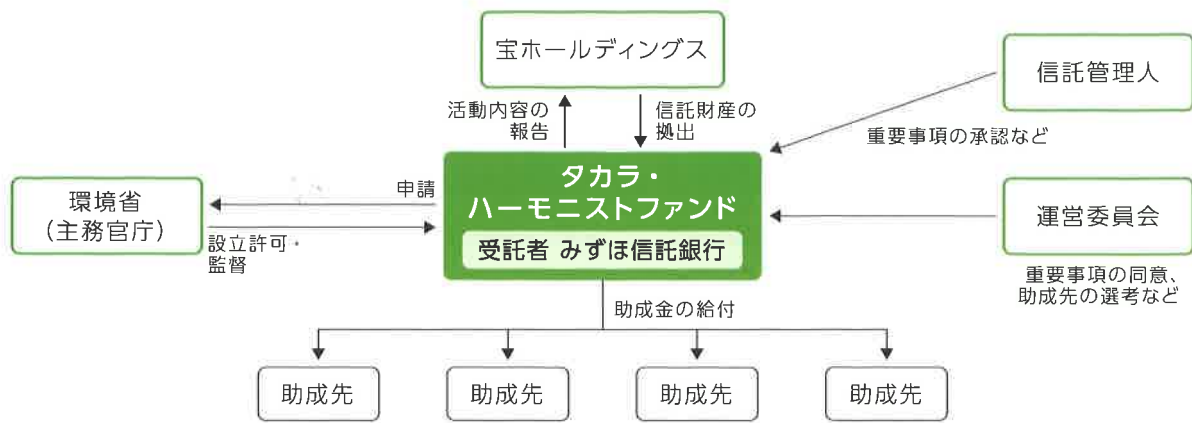
宝酒造は、穀物や水、微生物など自然の恩恵を受けて酒類や調味料、酒精といった幅広い事業を行っています。このため、豊かな自然環境が保たれることは、当社が存続するうえでの大前提となります。一方、当社の商品は、ガラスびんやPETボトル、紙容器、アルミ缶などの容器に詰めて販売します。商品が消費されたあとに発生する空容器は、社会に大きな環境負荷を与えています。以上の理由から、当社との関わりが深い「自然保護」と「空容器問題」への取り組みを環境活動の2本柱と位置付けてきました。

「自然保護」では、1979年にスタートしたカムバック・サーモン・キャンペーンをはじめ、1985年に設立した公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」、2004年開校の宝酒造「田んぼの学校」など、30年以上にわたり様々な活動に取り組んでいます。

「空容器問題」では、容器の3R (Reduce・Reuse・Recycle) を考慮した商品開発を進めるとともに、当社独自の取り組みとして、新たな容器を必要としない焼酎のはかり売り (Refuse) を展開しています。また、2012年より宝酒造「エコの学校」を開校しています。

宝酒造は自然と社会と人間との調和を大切にしています





助成概要

1. 助成対象

日本の緑を構成する森林等の陸域、または海、湖沼、河川等の水域の自然環境(生物の生態把握等も含む)に関する実践的な研究・活動に対して、助成を行います。

2. 応募資格

以下の条件を満たす実践的研究・活動を行う個人および団体。

- (1) 具体的に着手の段階にある研究・活動。
- (2) 営利を目的としない研究・活動。

3. 助成金の金額と助成期間

助成金額は、それぞれの研究・活動の所要額ですが、総額等はつぎのとおりです。

- (1) 助成金総額は、合わせて500万円程度とする。
- (2) 助成期間は、原則として助成金贈呈日より1年間とするが、助成金を2年間にわたって利用することも認める。

4. 助成金の使途

研究・活動に関係した費用であれば、機材費、消耗品費、交通費、宿泊費、謝礼金を含め、その内容を問いません。

注1) 人件費及び管理費等、間接経費は認めません。

注2) 交通費・宿泊費・謝礼金の合計金額は、申請金額の5割までを目処とします。

5. スケジュール

応募期間：2月上旬～3月末

審査：5月

通知：5月

贈呈：6月

6. 応募方法及び詳細

応募方法ほか詳細は宝酒造のホームページをご覧ください、下記事務局にお問い合わせください。

宝酒造株式会社 環境活動ホームページ <http://www.takarashuzo.co.jp/environment/>

公益信託 タカラ・ハーモニストファンド事務局

〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入

みずほ信託銀行株式会社 京都支店 営業2課 TEL.075-211-6231 FAX.075-212-4915

宝ホールディングス株式会社

環境広報部 〒600-8688 京都市下京区四条通烏丸東入 TEL:075-241-5186 FAX:075-241-5126



この印刷物は環境に配慮し、植物油インキ・水なしオフセット印刷で制作しています。この用紙費用の一部は「日本赤十字社」に寄付しています。